

山岳ぐんま



一般社団法人 群馬県山岳・スポーツクライミング連盟

発行人：吉田直人 / 編集人：根井康雄

〒371-0123 前橋市高花台1-6-5 tel 090-8842-2158

E-mail: info@gunmaken-sangakurenmei.net



top News

神津牧場からふるさと群馬の山々

新年度スタートにあたり 持続可能な未来への布石を

一般社団法人 群馬県山岳・スポーツクライミング連盟 会長 吉田 直人



令和7年度通常総会は5月31日、前橋総合福祉会館で開催され全ての議案が原案どおり承認されました。新たな年度を迎え私たち群馬県山岳・スポー

ツクライミング連盟はより安全で楽しい登山の推進やスポーツクライミングの普及、魅力を広く発信していきます。

令和5年4月法人化と名称変更を同時に行い今年3年目に入りました。まだまだ発展途上の組織ですが、理事は元より全ての岳連会員が自覚と誇りを持ち続け持続可能な登山とスポーツライミングの団体を創っていきましょう。

さて、6月28日、29日の2日間 ALSOK ぐんま総合スポーツセンターで開催された関東ブロック大会は暑さに悩まされながらも大きなトラブルも無く無事終了させることができました。これもひとえに関プロ準備委員会のみなさんによる周到な計画や多くの岳連会員の温かいご支援の賜物と感謝申し上げます。

新年度は既にスタートしておりますが今年度2点ほどの抱負を述べてみます。

1点目は前述の関東ブロック大会が終わり4年後には第83回国民スポーツ大会が待っています。この群馬国スポを見据え本格的な準備をスタートさせねばなりません。今年を準備期間の第1クォーターと位置づけ行動

していきます。46年ぶりに本県で開催する一大イベントです、スポーツライミングに興味の有る無しにかかわらず岳連会員として力強い支援をお願いします。

2点目は岳連人事のあるべき姿です。現状一人に重要な仕事集中しています。これは会長の責任です。このままではとてもこの先持ちませんしリスク管理上でも大問題です。少なくとも今年度中には対処していきたいと考えます。また後継者が「いない、見つからない」、と言いながら時が過ぎているのが現実です、このままでは4年後の群馬国スポは今の体制で迎えることになりません。果たしてそれで良いのか疑問です。より良い組織にするには血の入れ替えは絶対に必要です。加盟団体の若い人を引き上げるなど皆さんの意見も聴きながら人事について真剣に取り組んでまいります。

終わりに今年度も皆さまの健康とご多幸をお祈り申し上げますとともに群馬県山岳・スポーツライミング連盟の更なる発展に向け共に歩んでいきましょう。

定時総会を開催



あいさつに立つ吉田会長

5月31日18時から、一般社団法人群馬県山岳・スポーツライミング連盟の2025（令和7）年度定時総会が前橋市日吉町のK'BIX まえばし福祉会館で開かれた。委任状提出者を含め正会員22人が出席した（議決権を行使できる正会員は28人）。

会長あいさつ、祝電披露に続き、定款により議長に吉田直人会長を選出して議事に入った。

議事では第1号（令和6年度事業報告）から、第2号（令和6年度収支決算報告と財産目録、監査報告）、第3号（令和7年度役員改選）、そして第4号（事務局変更について）までの4議案が上程され、いずれも審議の結果、原案通り承認された。

事業報告では総務、遭難対策、登山指導、競技、自然保護、個人会員、ジュニアなどの各委員会と高体連の6年度の活発な活動の詳細が報告された。

役員改選では参与、理事、監事それぞれ1人の辞任と監事1人の新任、理事の選任が承認された。また、参考資料として令和7年度事業計画と同収支予算書も示された。

第79回 国民スポーツ大会関東ブロック大会 スポーツクライミング競技

6月28日、29日の2日間でALSOKぐんま総合スポーツセンターにて、当連盟主管でスポーツクライミング競技を実施しました。競技内容は、リードとボルダー2種目を行います。選手2名と監督1名のチーム戦です。オンサイト競技とはいえ、チーム内でアドバイスをすることができます。本県からは少年男子と少年女子がエントリーしました。当日は6月とはいえ30度以上を記録する暑い日で、選手やスタッフはとても過酷な状態の中競技を無事に終了することができました。結果残念ながら群馬県はブロック大会通過はできませんでしたが、少年男子、少年女子とも日本代表クラスの他県の選手がいる中でとても健闘しました。特に少年女子はボルダー競技で千葉県に勝つことができこれからの活躍に期待がもてます。

*競技結果はこちらです。

https://jmanew.sakura.ne.jp/climbing/temp_results/kokutai/block/2025/kantou/index.html



半年以上にわたり準備委員会を開催し入念に準備を重ねてまいりましたが、たくさんの山岳連盟のスタッフ応援や関係者の皆様のご支援により無事に終了することができました。大会へのご支援誠にありがとうございました。

また、湯けむり国スポ群馬2029に向けてスタッフ一同準備をすすめてまいります。ぜひとも国スポのご支援もよろしくお願いいたします。

(競技委員 嘉村 肇)



関係者受付の様子



競技会場の様子



表彰式の様子

少年女子ボルダー競技の群馬県選手



黒木選手（左）鈴木選手（中）、2課題を2人とも完登で喜ぶ群馬県選手（右）

少年女子リード競技の群馬県選手



黒木選手（左）課題について会話する群馬県選手（中）鈴木選手（右）

少年男子ボルダーク競技の群馬県選手



結城選手（左）と佐藤選手（右）

少年男子リード競技の群馬県選手



結城選手（左）課題について会話する群馬県選手（中）佐藤選手（右）

2025 年度リード群馬カップ開催報告

2025 年 4 月 6 日（日）、ALSOK ぐんま総合スポーツセンター サブアリーナで 2025 年度のリード群馬カップが開催されました。小学生カテゴリで 16 名、ユースで 10 名、オープンで 14 名がエントリーしました。オープンカテゴリでは、後日開催されるボルダー競技の結果とあわせて第 79 回国民スポーツ大会の群馬代表選手および強化選手の選考をしました。

競技内容はオンサイト 2 本で、他人のクライミングは見るできません。

結果は、小学生男子では全国レベルの大会でも活躍している深澤要選手が優勝、女子では同じく全国レベルの大会で活躍している橋本暖選手が優勝しました。

ユース男子は、2 本のルートの順位点によって吉岡尊登選手と宮川湮選手が同着優勝となりました。ユース女子では、小山愛美選手が優勝。注目のオープンカテゴリでは、昨年の成年男子群馬代表である星優輝選手が優勝、女子は同じく昨年の少年女子群馬代表の黒木ももこ選手が優勝しました。

ルートの内容は全般的に難易度が高めの内容で、両ルート完登者はゼロ、1 ルート完登者は全カテゴリあわせて 6 名でした。選手たちには、難しい課題にどんどん挑戦して強くなってほしいと思います。（競技委員 嘉村肇晃）

[*結果はこちらをご覧ください。](#)

<https://drive.google.com/file/d/7uG2Brlp6-yubkaQpZv5axLd7bX2w2pyc/view>



左から 宮川湮選手、深澤要選手、橋本暖選手、吉岡尊登選手



小学生女子、小学生男子、ユース男子の入賞者

オープン女子、ユース女子、オープン男子の入賞者

第13回ボルダー群馬カップ開催報告

2025年4月13日(日)にクライミングジム ウォールストリートで第13回ボルダー群馬カップが開催されました。小学生カテゴリで18名、ユースで11名、オープンで17名がエントリーしました。オープンカテゴリでは、先日開催されたリード競技の結果とあわせて第79回国民スポーツ大会の群馬代表選手及び強化選手を決定しました。

競技内容は4つの課題をオンサイトベルトコンベアー方式で実施しました。

小学生の結果は、男子がリード群馬カップでも優勝した深澤要選手が安定の全課題完登で優勝。女子は、同じくリード群馬カップで優勝した橋本暖選手が全課題完登で優勝。ユースクラスでは、男子が埼玉県から参戦した野崎永将選手が2課題完登とゾーンポイント獲得で群馬勢を抑えて優勝、宮川湊選手が2位につけました。女子は3課題完登で他選手を圧倒して小山愛美選手が優勝しました。

オープンクラスでは、女子がトライ数(アテンプト数)の差で黒木ももこ選手が逃げ切り優勝。男子は全課題を完登し圧倒的強さを見せて星優輝選手が優勝しました。

[*競技結果はこちらです。](#)

<https://drive.google.com/file/d/1TJYC8lrsMwebuED4pl7araKKDkB8Gppl/view>



小学生女子入賞者(左)と小学生男子入賞者(右)



ユース女子入賞者(左)オープン女子入賞者(右)



ユース男子入賞者(左)とオープン男子入賞者(右)

リードとボルダーの結果により群馬県代表選手を以下のとおり選出しました。なお、少年女子は両競技の結果で2位が同着となったため、4月20日(日)にクライミングジム ウォールストリートでスーパーファイナルを実施し決定しました。

- 成年男子：星優輝選手、中村怜旺矢選手
- 少年男子：佐藤飛羽選手、結城志音選手
- 少年女子：黒木ももこ選手、鈴木優月選手

(競技委員 嘉村肇晃)

山スキーデビュー戦「山スキーを学ぼう！」

(2025/4/20) 開催報告

遭難対策委員会 赤木 修



集合時間の5:00前に尾瀬戸倉第1駐車場に着くと、すでに駐車場は3分の1ほど埋まっていた。参加者の皆さんの確認と遭対協メンバーの紹介の後、乗り合いバスで鳩待峠に向かう。途中の道路脇の雪は昨年より多いようだ。鳩待峠に着くと、駐車場横の雪が3mほどある！ここ2年かなり雪が少なかったのが、凄く多くてワクワクした。今年8月スタートの新しい休憩所、鳩待山荘も外見はもう出来ている。かなりおしゃれな外観だ。

至仏山登山口付近に集合し、まずは櫻澤委員長から山スキーの話。「山スキーは滑るというより、歩き登山では行けないような遠い雪山に行くための手段」まさに山屋さんの言葉に納得。スキーは浮力も登降スピードも歩

きに比べ断然勝るため、奥深い山まで行って帰って来られるのだ。さらにシールの張り方やシールワックスの話などの後、ビーコンチェックをしていざ出発。予報に反して天気は高曇りで弱風、暑くも寒くも無く、非常に快適だ。シール登降方法、ポールを持ち方、服装などの基本を聞きながら登り、途中天然ハーフパイプでボードの参加者が滑りを披露してくれた。

オヤマ沢田代手前まで来て樹林帯が切れるとついに尾瀬ヶ原と燧ヶ岳が見えた。まだ真っ白。オヤマ沢田代まで上がると小至仏山の真っ白な尖がり奥に至仏山の頂上が見えると共に、右手にはそれらから続くきれいな大斜面が広がっていて、思わず声上がる。その後、小至仏山を滑って登り返すチームとトラバースする



トレッキングや登山の国内・海外旅行保険はもちろん、自動車保険、火災保険、傷害保険、生命保険などを取り扱っております。メールや電話、Zoom等でもご契約頂けるので、千葉県船橋市の保険代理店ではございますが、ご用命頂けると幸いです。

東京海上日動火災保険(株)、東京海上日動あんしん生命保険(株)代理店

(株) And-Arc

〒273-0012 千葉県船橋市浜町2-1-1 ららぽーと三井ビルディング7F

TEL:047-489-1661/FAX:047-489-1667

チームに分かれ、私は小至仏山組に。急な小至仏山を登り、準備していざドロップ！雪は若干重いがザラメで気持ちよく滑れた。登り返し、トラバース組と合流して至仏山頂上へ。昨年よりだいぶ雪が多く、岩場の部分は少ない。頂上石碑で参加者全員の集合写真を撮った。周りを見ると、西には、谷川や巻機、中ノ岳・越後駒、平ヶ岳、東には尾瀬ヶ原、燧ヶ岳、会津駒まで綺麗に見渡せた。

準備をしていよいよ至仏山の大斜面の滑走だ。ワル沢方面を目指し一人一人スタート。重重なザラメで、山ス

キー初心者の方は特に滑りにくそうではあったが、広々とした大斜面を滑るのは爽快だった。樹林帯まで降りたところで大斜面を見ながらお昼休憩を取った。

その後は快適なツリーランを楽しみ、ワル沢を渡るところで終了。沢は埋まっていたので渡渉無し。シールを付け、小一時間で鳩待峠に登り返した。最後に至仏山をバックに記念写真を撮り、本日終了となった。

天気もちょうど良かったし、何より怪我も無く、皆さん楽しんで貰えたので、大変有意義で良かったと思う。



アルファ化米
乾燥米飯

nozomi foods Co., Ltd.
あなたの安心を変えるWel-heart
<https://www.nozomi-f.jp>



群馬岳連の自然観察会（第20回）

堂岩山 ～ハツ場あがつま湖の眺めを楽しむ～

自然保護委員会副委員長 佐藤 緑

令和7年5月25日（日）参加者26名自然保護委員会11名（総勢37名）で自然観察会を実施しました。前日が雨で天候が心配されたため、欠席者も8名と多かったです。

集合はハツ場林ふるさと公園、7時30分受付開始、8時から開会式を行いました。式後、吾妻溪谷の出来方や堂岩山の植物などの自然解説、堂岩山のいわれや天狗の伝説を描いた紙芝居などをしました。8時30分、4班に分かれて出発しました。心配していた雨もやみ、不動大橋を渡るときにハツ場湖の先に堂岩山が見えました。不動滝の手前で岩脈や柱状節理を観察しました。トンネルの手前で登山道に入り、早速、ハシリドコロ（毒草）、珍しいトチバニンジンなどの植物があり、委員か

らの説明に参加者も聞き入っていました。初めは、階段の道を落ち葉を踏みながら、鮮やかな青々とした木々の中を歩いていきました。前日の雨で水かさがやや増していたので、ルート確認担当が渡りやすいように石を置いてくれました。トラバースで滑りやすい所は、数日前にロープを張ってくれていたもので、参加者は気を付けながら安全に通過することが出来ました。森の中は静かで、オオルリやキビタキ、ミソサザイ、アカゲラなどたくさんの鳥のさえずりが聞こえてきました。山頂手前の鞍部では、仮設トイレを設置。そこからは落ち葉の積もったとても滑りやすい急な登り、一步一步気を付けて登っていきました。最後の急登には安全のためにロープを設置しました。



山頂にて集合写真



帰りに花が開いたクワガタソウ



山頂からのハッ場あがつま湖



危険個所のトラバース



沢の渡渉



頂上直下の急登

【このコースに関する注意情報】

- 沢の渡渉が何カ所もあり、飛び石での転倒の危険性がある。
 - 正しいルート（長野原町が設定したルート）をたどれないと、進退窮まる可能性がある。そもそもルートが不明瞭のため、ナビゲーションが出来るだけではダメなのは課題。
 - 手を添えられる仮設ロープが無いと、スリップ即転落の危険性が高い箇所がある。
 - 観察会で設置した仮設ロープは当日に撤去されている。（現在、ロープはない）
- ◎入山される際には、ナビゲーションと危険個所の回避が出来る方と同行されることを強くお勧めします。

群馬の山

18

難易度 A 体力度 3

芳ヶ平

草津天狗山ゲレンデから芳ヶ平・渋峠コース

混交樹林帯のゆったりとした登りから始まり、火山性の岩で難渋するガレ場、ラムサール条約に登録される芳ヶ平湿原の木道など、変化に富んだハイクが楽しめる。季節、天候を選び、芳ヶ平までの



草津白根山を望む

コースなら、家族でも十分に堪能できる。横笹で大平湿原ーチャツボミゴケ公園方面へ道が分かれる。大平湿原へは約15分の道のり。チャツボミゴケ公園からのアプローチも可能だが、同公園の駐車場開閉時間に注意を。下山後は天下の名湯「草津温泉」に湯量豊富な日帰り温泉施設が待っている。

コースタイム（登山口⇒芳ヶ平往復） 合計5時間25分

登山口 ⇒ <0:45> ⇒ 香草 ⇒ <1:00> ⇒ 横笹 ⇒ <1:00> ⇒ 芳ヶ平ヒュッテ ⇒ <0:05> ⇒ 芳ヶ平湿原 ⇒ <0:05> ⇒ 芳ヶ平ヒュッテ ⇒ <0:50> ⇒ 横笹 ⇒ <0:50> ⇒ 香草 ⇒ <0:40> ⇒ 登山口

「群馬の山歩きベストガイド 安心して歩ける126コース」

群馬の山歩き
ベストガイド

定価 1400円 + 税
ISBN978-4-86352-249-7

群馬県山岳連盟と日本山岳会群馬支部、群馬県勤労者山岳連盟による群馬県山岳団体連絡協議会の編集で、上毛新聞社から発売中。お求めは岳連総務委員会へ。県内外の書店でも好評販売中。



後編 記集

50年も前のことになる。山溪だったか岳人だったかはもう定かではないが、山岳遭難の短いまとめ記事の中で、「転倒」とあった。その時は「山で転倒して遭難救助を呼ぶわけもないだろう」と、「転落」の誤植と受け止めた。しかし、今や転倒事故は当たり前。自分自身、「転倒」の恐怖を感じることも多い。特に下りでは時間をかけても慎重に下りたいと思う。



(有) 山とスキーの店 石井

DreamBOX

伊勢崎市宮子町 3448-2

TEL 0270-21-8025 FAX 0270-21-8026